

電話：0120-183-279 受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日・会社休日を除く）
ヤンセンファーマ・マテイク・カル・イン・ソメ・シヨ・セン・ター 患者さん・ご家族専用窓口

テフベイリ®で多発性骨髄腫の治療を受けている患者さんのための重要な安全性情報

このカードを常に携帯し、あなたの治療に携わる医療従事者に提示してください。
また、救急医療機関を受診する際も提示してください。

テフベイリ® 患者カード

RMP

テフベイリ®の特に注意を要する副作用

副作用	主な症状 ここに記載されている症状が全てではありません 気になる症状がある場合は、 医師・看護師・薬剤師にご相談ください
感染症	発熱、咳、寒気、のどの痛み、眼やにが増える、耳が痛い、排尿時に痛みがある
血球減少	突然の高熱、寒気、のどの痛み、顔色が悪い、疲れやすい、だるい、頭が重い、どうき、息切れ、手足に点状出血、あおあざがしやすい、出血しやすい（歯ぐきの出血・鼻血・生理が止まりにくい）
進行性多巣性 白質脳症 しんこうせいたそうせい はくしつのおうしょう	物忘れ、歩行時のふらつき、手足に力が入りにくい、口のもつれ、動作が遅くなる
低ガンマ グロブリン血症 けつしやう	低ガンマグロブリン血症では感染症にかかりやすくなりますので、感染症の症状に注意してください
腫瘍崩壊症候群 しゅようほうかいしやうこうぐん	尿量が減る、不整脈、四肢が重くだるい感じ、脱力感、動悸、全身倦怠感 けんたいかん
間質性肺疾患 かんしつせいはいしつかん	からせき 空咳が出る、階段を登ったり少し早く歩くと息が苦しくなる、発熱

副作用は、治療期間中だけでなく、治療が終わった後にもあらわれることがあります。

副作用は早期に発見し、適切に対処することが大切です。記載されている症状以外にも気になる症状がある場合は、早めに医師、看護師、薬剤師にご相談ください。

テフベイリ®の治療を受けている患者さんとそのご家族の方へ

以下の症状があらわれた場合は、すぐにテフベイリ®治療担当医療機関にご連絡ください。また、緊急時は救急医療機関を受診してください。

サイトカイン放出 症候群(CRS)：	神経系の症状：	
・発熱(38度以上) ・息が苦しい ・寒気、悪寒がする ・頻脈(脈が速い) ・頭が痛い	・頭が痛い ・けいれん発作 ・ギクシャクした動き ・筋肉のこわばり ・しびれやうずき(「ピン や針で刺した」ような 感覚)	・筋肉のけいれん ・歩行が困難 ・体がうまく動かせない ・ものが二重に見える ・焼けるような痛み、 ズキズキする痛み、 刺すような痛み
・めまい/ふらつき	・混乱する、方向感覚を 失う ・注意力や意識の低下 ・眠気 ・気力がわかない ・頭の回転が鈍くなる、 又は考えにくくなる	・記憶の喪失 ・落ち着かない ・うまく話せない、文字 が書きにくい ・ふるえ(振戦) ・耳が聞こえにくい ・顔の表情が作りにくい

テフベイリ®治療中に、他の薬を服用するときは、服用前に必ず主治医に確認してください。



- ・上記のような症状があらわれた場合は、すぐに主治医に連絡するか、救急医療機関を受診してください。
- ・上記の症状はテフベイリ®の治療で起こりうる症状のすべてではありません。
- ・上記の症状以外にも、気になる症状があれば、主治医へ連絡してください。

注意事項：漸増期(初回、2回目、3回目)の投与後は48時間入院していただく必要があります。また、漸増期の投与48時間経過後及び継続投与期(4回目以降)の投与後も入院していただく場合があります。

©Janssen Pharmaceutical K.K. 2025

テフベイリ®の注意事項等の情報は最新の電子添文をご参照ください。

現在投与量：	年	月	日	～(投与量	mg/kg)
初回投与日：	年	月	日	(投与量	0.06 mg/kg)
投与スケジュール：	□ 週に1回	□ 2週に1回	年	月	日(より)
担当医師名：					
医療機関名(電話番号)：	() - -				

テフベイリ®の治療を行っている

この患者さんは、テフベイリ®による治療を受けています

テフベイリ®治療の担当医師が、本剤の処方に基づいて本カードを記入し、患者さんへ渡していただきます。

テフベイリ®に関する安全性情報：テフベイリ®は、重大な副作用として、生命を脅かす又は致死的なサイトカイン放出症候群(CRS)および免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群(ICANS)を含む神経系事象があらわれるおそれがあります。また、CRSにより、多くの臓器の機能不全を起こす可能性があります。